

■代表理事挨拶



代表理事の松永昭弘でございます。皆様にはパラリンアートの活動をご支援頂き深く感謝申し上げます。

私どもは平成19年9月より(株)セルフサポートとしてパラリンアートの活動して参りました。平成25年12月より一般社団法人障がい者自立推進機構を設立し、更に活動を公益性のあるものにするため活動を継続しております。

ご支援いただいている皆様には半期毎に活動報告書をお送りさせていただきます。

今後の更なるご指導ご協力をお願い申し上げます。

代表理事 松永昭弘

■作者報酬報告 平成27年6月1日～平成27年11月30日

作者報酬： **¥2,379,998**

※登録作家様へのお支払い

■作者、作品登録状況について 平成27年11月30日現在

登録作家数： **194名** 申込社数： **74社**

HP掲載作品数： **827点** レンタル枚数： **117枚**

■パラリンアート運営事務局理事及びスタッフ紹介



セイン・カミュ
理事



中井亮(法隆寺)
専務理事



伊藤貴通
事務局長



中井亨
理事



神成麻衣
広報部



内山久恵
管理部

監事

・廣瀬彌壽男監事

非常勤理事

・阪口富左雄理事

・廣瀬彌壽男理事

・島袋勉理事

・川口英幸理事

特別顧問

・碓井誠特別顧問

・桂照男特別顧問

■スタッフ一同よりご挨拶

私達は、パラリンアートの普及活動を行っております。初めて絵を描く方に向けてのアトリエ教室開催やワークショップの開催、展示会活動などを主に行っております。パラリンアート運営事務局は沢山のアーティストの発掘と、アーティストの作品が一人でも多くの人びとに知って頂けるよう日々努めております。

来季もイベント活動など積極的に開催し、アーティストが輝ける場を提供していきたいと思っております。

今後も皆様のお力添えをいただけますよう宜しく御願ひ申し上げます。



当団体ホームページ上でも活動実績を公開しております。HP : <http://paralymart.or.jp>



(株)朝日新聞大阪本社にて、パラリンアートとスポーツオブハート2015の紹介パネルが展示されました!



新生紙パルプ商事(株)様「エアラス展示会」にてパラリンアートをご紹介いただきました。



新生紙パルプ商事(株)様にて、高級印刷用紙「エアラス」で、ポストカードを作成していただきました。



認定NPO法人ホープワールドワイドジャパン開所式にて、アトリエを開催しました。



日本フィランソロピー協会様の機関誌(8月)表紙に「ANNA」さんの作品を使用していただきました。



「Art is Beauty : clubFm×NORA 共同企画展示」にアーティストさんの作品を展示していただきました。



日本フィランソロピー協会様の「名刺プロジェクト」に5名のアーティストさんの参加が決定。



日本財団様より、寄付活動への感謝状をいただきました。



文京区文京総合福祉センター「リアン文京」様にて、入居者様へ向けたアトリエ教室を開催しました。



文京総合福祉センター祭りにて、施設内にてパラリンアート絵画を飾っていただきました。



スポーツ・オブ・ハート2015に参加しました。代々木第一体育館にて「ライブアート展 Heart Art」に参加。屋外ではアートテント内でアトリエコーナーを開催。

パラリンアート登録作家インタビュー

第2回 作家：吉野公賀(よしのともり)さん

パラリンアートに登録されている作者さんに、団体広報がお話を伺ってきました。

障害を持っていることでの悩みがあれば教えてください。

昔は画風が定まらなくて悩んだこともありましたが、今では上手に描こうと思うことよりも、色で遊ぼうと思って描いています。そうすることで自身の画風が定まりました。

日常どんな時に不便を感じますか？

今のところ重度の視覚障がい者ではないので、有難いことに身の回りのことは比較的不自由なく生活することができています。それでも仕事や人との関わり合いの中では、周囲のスピードについていけないことも多く、失敗や誤解を生む不便を感じます。絵の制作に関しては、視野が狭いため画面全体を一目で把握することができません。より良い作品作りのために、パソコンを使ってバランスを確認したりしながら自分なりに工夫しています。

吉野さんにとって「絵を描く」とは？

とても大きな存在です。自分を表現できるものがあるというのは本当に幸せなことだと思います。できないことが増えたことで、その大切さを強く実感できるようになりました。心の中にある“想い”を絵にする喜びは、私に生きる力を与えてくれています。

パラリンアートに出会って良かったことを教えてください！

障害を持つ者として大変有難いサポートだと日々感謝しています。また、アーティストとして対等に接していただいているおかげで、前向きな気持ちで活動ができるようになりました。パラリンアートと出会い、可能性を広げるチャンスに恵まれたことを本当に嬉しく思っています。

パラリンアートに対して望むことを教えてください！

この活動が未永く続いていくことを望みます。福祉という枠に止まらず、アートの可能性をより多くの方々と分かち合えたら素晴らしいですね。よく「アートに障害の有無は関係ない」と言われますが、それはアート作品が本来持っている可能性のことであり、ハンディキャップアーティストの多くは、それ以前の部分でサポートを必要としています。障がい者だからと甘えてばかりではいけません、キラリと光る才能をひたむきに磨いているアーティストや、この活動に賛同してくださっている方々にとって、温かい希望の光であり続けてほしいと切に願っています。

吉野さんから皆様へのメッセージ

生きるとは“活かす”ことだと信じています。私は成人してから突然の視覚障がいに見舞われました。できていたことを失っていく悲しみを乗り越えて、今できることを見つめ続けたことで絵と出会い、パラリンアートとのご縁もいただくことができました。障害の有無、その違いは生きていく上では確かに大きいと思います。未来のことは分かりませんが、もしかししたら私自身、絵を描くことができなくなるかもしれない。それでも私は他人や過去の自分と比較せず、自らをどのように活かしていくのかを考えながら生きていけたらと思っています。

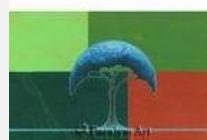
【作者プロフィール】：吉野公賀(よしのともり)



岐阜県出身のアーティスト。病気による視覚障がいを機に画家を志し、各地で個展を開催。国内外での展覧会にて作品が買上げられるなど、ファンやコレクターからの支持が順調に広がっている。国際アートトリエンナーレ2007 入選



新しい風



地球の樹



dancing



創造